

終	○主体的に価値をうけとめさせる。	8	5. 悪（不正）に対して、どうしたらよいか。	• 表面的にならないようにしたい。
末	○各自に実践の意欲をもたせる。		6. 自分はこれからどうしたらよいか。	

5. OHPによる提示資料

(1) 導入時に使う資料

① 資料（A・B）の内容

事前にアンケートにとったものをまとめたものである。

A. 悪（不正）をなくすために悪を見たときどうすればよいですか。

B. 悪（不正）を見のがした経験があると思います。それはどんなことですか。理由もかきなさい。

アンケート結果	
A. 悪（不正）を見たとき	
	0 50 100
えんりよしないで注意する	
(年上の人でも)勇気をだして注意する	
思っただけでなく実行する	
はずかしがらないで注意する	
B. 悪（不正）を見のがした	
〈こんなとき〉	〈こんなことで〉
• 上ばきでパン買い	→ 友だちなので悪くて……
• ガラスにらくがき	→ いいかえされそうで……
• 行ってはならないところへ	→ 仲間はずれにされそうで……
• 下級生をいじめている上級生	→ 乱暴されそうで……

② 資料（A・B）の使用の意図

悪や不正に対してどうすればよいかは、アンケートAのように観念的にはつかんでいるが、反面、乱暴されはしないか、友だちに悪いのではないかなど、日常生活のさまざまな条件のもとでは判断力がにぶり、アンケートBのようになっている。

そこで、このことに気づかせ、本時のねらいに目を向けさせるため、資料A・BをTPにして活用する。